第194号 **たけの子だより** 2026年7月2日

「檻の中のライオン」ー憲法ってなんだろうー

先日、日本国憲法についてわかりやすく話してくれるという弁護士の棟大樹（はんどうたいき）氏の講演会「檻の中のライオン」を聴いてきました。

そこで、わたしの認識不足だった憲法のお話がたくさん聴けたので、今回はその一部をご紹介します。

◇憲法を尊重し、擁護する義務は誰にある？

第九九条にはこうあります。

天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の**公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務**を負う。

わたしたち国民にはこの憲法によって守られる権利があるのであって、守らなければならないのは公務員だったのですね・・・。

つまり、「檻の中のライオン」**檻**とは**憲法、ライオン**とは**国家権力**のことです。

◇ライオンを選ぶことができるのは誰か？

第一五条にはこうあります。

公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利である。

②すべての公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない。

◇基本的人権（自由権）とは？

ライオンに放っておいてもらう権利のこと。

⑴ライオンに邪魔されず、自由に思い、考え、意見をいうことができる。

第一九条　思想良心の自由
第二〇条　信教の自由
第二一条　表現の自由・知る権利
第二三条　学問の自由

⑵ライオンに邪魔されず、自由に経済活動ができる

第二二条　職業選択の自由
第二九条　財産権

⑶ライオンに身体の自由を奪われない

第一八条、三一条、三三～三九条

⑷ライオンに邪魔されず、自由に結婚できる

第二四条　婚姻の自由

◇基本的人権（社会権）とは？

ライオンに助けてもらう権利。

第二五条　生存権
第二六条　教育を受ける権利
第二七条　勤労権
第二八条　労働基本権

◇憲法によって保障されていることとは？

この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、**人類の多年にわたる自由獲得の努力の結果**であって、これらの権利は、**過去幾多の試練**に堪え、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として**信託された**ものである。（第九七条）

☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝☆＝

今回のお話しを聴いて、わたしの率直な感想は、わたしたちは憲法を知らないし、使えてないなということです。

政治家達は、どっちを向いているのでしょうか。わたしには自分達の権力をいかに維持するのかということしか考えていないようにさえ思います。

国民の方を向いてくれるよう、わたし達自身があきらめず、無関心にならずに、働きかけていくことが大切ですね。

だって、日本国憲法はわたし達日本国民が恒久の平和を念願し、平和のうちに生存することを確認し、希求した上でできた憲法なのですから。

辺見妙子



園の鶏にエサをあげようとしている子ども達